

▼哲学の命題

わたしとは何か？	ほんとうのわたしは知りえない
世界とは何か？	世界のすべてを把握できない
わたしと世界の目的は何か？	人間や世界の目的は知りえない
人はいかによく生きるか？	「よく」とは何か？

▼「善」とは何か？

カント「実践理性批判」より

仮言命法 欲求や期待があって、意志を規定する「べし」
定言命法 欲求や期待抜きに、純粹に意志を規定する「べし」

道徳的人間 純粹に道徳法則への尊敬の感情のみで行動する人

善の本質 欲望・快不快・幸福からの離脱
自分の自己中心性を乗り越えること

▼「自由」とは何か？

道徳的法則が表現するのは、
純粹実践理性の自律すなわち自由にほかならない

自ら進んで、自分自身に対して立法し（道徳法則に従おうと意志し）
行為することができる。

人間が真に独立した自由な人間であること

自分の主観のなかから「普遍的なもの」として道徳法則を取りだす
自分の主観以外にはどこにも「善」の根拠を置かない
どこにも特権的に「善」を言い渡す場所はない
自分自身に対して主人になる

▼いかに生きるべきか？

人間の本当の生き方は一つ 道徳的な生き方＝善の実行

最高善 道徳的な人間が幸福になること **徳福一致**

最高善は可能か？

幸せになる「ために」徳を積むのは、自己の利益のために道徳的ではない

不死の魂となって努力を続け、完全に道徳的な存在となったとき
祝福してくれる神がいなければならない **神の要請**

キリスト教 神がいて、人間を作った

カント 人間の道徳（最高善）の条件として要請されるのが神

▼道徳・善の基準を何に求めるか？

「普遍的なもの」は存在するのか？